

- 納豆やクロレア食品及び青汁等はこの薬の働きを弱めるビタミンKが多く含まれているので摂取しないでください。
- 緑黄色野菜(ブロッコリー、キャベツ、レタス、ホウレンソウなど)にもビタミンKが含まれているので、普段以上に多く摂ることは控えてください。
- この薬を服用している間は規則正しくバランスのとれた食事をとることが大切です。偏食や暴飲暴食は慎んでください。

6 薬の置き場所などについても注意してください

- お子さまの手の届かないところに保管してください。
- 日の当たる場所や湿気の多いところに置かないでください。

その他に、わからないことや困ったことがあれば医師、薬剤師にご相談ください。

監修:医療法人 財団 康生会 武田病院 循環器センター 顧問 田巻 俊一 先生



(2014年9月作成)
WAR-E-8

ワルファリンK錠を服用される方へ

〈大切な注意事項が記載してあります〉

ワルファリンK錠
0.5mg「NP」



ワルファリンK錠
1mg「NP」



ワルファリンK錠
2mg「NP」



このお薬は血液を固まりにくくする働きをします。そのため、服用を誤ったり日常生活上の注意を怠ると出血をおこすことがありますので、次頁の注意事項を必ずお守りください。

他の医療機関・診療科を受診するときには、このお薬を服用していることを必ずお伝えください。

1 定期的に血液検査を行うことが必要です

- 治療を始めるにあたり、血液の固まりやすさの程度やあなたの状態にあった薬の最適量を定めるために、血液検査が必ず行われます。
- 治療開始後にも、定期的に血液検査を行うことが必要です。決められた日には忘れずに受診してください。

2 薬は規則正しく服用することが大切です

- 主治医の指示通りに規則正しく（毎日同じ時間に）服用することが大切です。勝手に服用量を変えたり、服用をとばしてしまうことは絶対にしないでください。
- 万一、当日の服用を忘れた場合は、できるだけ早く忘れた分の薬を服用してください。
しかし、飲むべき時間から半日以上経過していたら、1回分を抜いて次から規則正しく服用してください。2回分を一度に服用することはしないでください。
- 主治医の指示なしに勝手に服用を止めないでください。

3 他の医療機関・診療科を受診するときには、このお薬を服用していることを必ずお話しください

4 次のような場合には主治医または薬剤師にご相談ください

- 手術や抜歯をするとき。
- ケガなどで出血したとき、その他、歯ぐきの出血、鼻血、打ち身などによる内出血、血尿、血便などに気づいたとき。
- 発疹、発熱、眼や皮膚が黄色くなる（黄疸）、下痢が続く、吐き気、脱毛などがみられたとき。
- 市販の薬（風邪薬など）を含めて、他の薬を服用するときやこれまで服用していた他の薬を止めるとき。
- 服用中に妊娠に気づいたとき、または服用中に妊娠を希望されるとき。

5 最適な効果が得られるよう、日常生活にも注意しましょう

- ケガをするような危険な仕事、運動は避けてください。
- 歯磨きは毛先の柔らかい歯ブラシを使い、やさしく磨いてください。
- ひげ剃りは安全カミソリより電気カミソリを使うようにしてください。
- お酒の飲み過ぎや習慣的に飲むこともよくありません。